

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2016年10月1日 ～ 2022年10月31日の間に、虎の門病院間脳下垂体外科に入院し非機能性下垂体腫瘍または成長ホルモン産生下垂体腫瘍に対し初回手術を行った成人の方

【研究課題名】

下垂体腫瘍患者を対象とした下垂体負荷試験による中枢性副腎皮質機能低下症の診断評価

【研究の目的・背景】

下垂体機能低下症は下垂体ホルモン分泌の低下によって下垂体ホルモンが調節している副腎皮質ホルモン、甲状腺ホルモン、男性または女性ホルモンの分泌が低下し欠落症状を生じる疾患です。下垂体機能低下症は、下垂体負荷試験で得られた血液中のホルモンの濃度を参考に診断されます。診断基準は数十年前に作成されたものが現在も使われていますが、最近のホルモンの測定は以前と比べ感度や精度の高い測定法が用いられており基準値の見直しが必要と考えられます。

本研究は下垂体腫瘍のため当院で手術を行った患者さんを対象に術前や術後に行った下垂体機能検査を解析して下垂体機能低下症の診断基準を再評価することを目的としています。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2023年3月31日 ～ 2025年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院内分泌代謝科竹下章のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：下垂体負荷試験を含む検査データ、診療記録、MRI の画像所見、薬歴

【虎の門病院における研究責任者】

内分泌代謝科 竹下章

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2023 年 6 月 30 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 竹下章

電話 03-3588-1111(代表)